

会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称) 相模原市D X推進計画策定検討委員会		
事務局 (担当課)		D X推進課 電話0 4 2－7 6 9－8 2 1 2 (直通)		
開催日時		令和7年7月11日(金) 午後2時30分～午後4時00分		
開催場所		相模原市役所 第1別館1階 第11会議室 (対面とオンライン会議のハイブリッド方式)		
出席者	委 員	5人(別紙のとおり)		
	その他	3人(株式会社日本総合研究所)		
	事務局	4人(D X推進課長、他3人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 議事 (1) 基本方針・施策案について (2) 市民アンケートについて (3) その他 3 閉会		

議 事 の 要 旨

1 開会

2 議事

(1) 基本方針・施策案について

株式会社日本総合研究所から別紙資料に基づき説明を行った。主な意見については、次のとおり。

(飯島委員長) オンライン申請については、市の取組みとして進んでいる印象があるが、「オンライン申請の拡充」を重点テーマに設定したということは、何らかの課題があるということか。

→ (日本総合研究所) 各所属の事業提案を集約したところ、様々な分野からオンライン申請の事業提案があったことから、市全体として見た際に拡充の余地があると考えている。

(飯島委員長) BtoC ではマイナンバーとの関係もあり、順次対応していく流れになると推察している。BtoB では今後オンライン化を進めるべき手続きもあると考えるが、各課からはどのような手続でオンライン化の意向があるのか。

→ (日本総合研究所) 各課からは、畜犬登録受付業務、公立保育園や粗大ごみ戸別収集手数料のキャッシュレスなどが新規事業として挙げられている。

(小山田委員) 計画の構成のビジョンとして「DX 推進に向けた基盤整備」が位置づけられているが、基盤整備は、地域 DX と行政 DX の推進の根底にあるもので、並列の位置づけになっていることに違和感がある。地域 DX と行政 DX の取組方針に位置付けてもよいのではないか。

→ (飯島委員長) 地域 DX と行政 DX の間に位置づけることが適切ではないか。取組方針のレベルに下げることにに関して、事務局はどう考えるか。

→ (日本総合研究所) セキュリティ確保、人材育成は重要な取組であり、ビジョンとして打ち出したいと考えている。なお、ご意見いただいたとおり計画構成の図の見せ方は工夫したい。

→ (相模原市) DX 推進条例を策定した際のパブリックコメントでも「デジタルサービスを安心して使えることが大切である」という意見があった。基盤整備としてのセキュリティ対策は市としても重要な施策であり、そうした姿勢を示すためにもビジョンとして位置付けたいと考えている。

→ (八木委員) セキュリティ対策により安心・安全の環境が構築され、そのうえでデジタルを活用する人材が存在し、両方の DX が進むと考えている。基

盤整備は両方の DX に影響を与える土台として認識しており、こうした全体像が分かるような図になるとよい。

(及川委員) 教育や産業に関する取組は、教育振興計画や産業振興ビジョンの内容を踏まえて整理することだが、現行の教育振興計画では、生成 AI などの記述が見られなかった。行政 DX の「先進技術の活用に向けた検討」の中で、教育や産業関連の生成 AI 等に係る取組も記載できるとよいのではないか。

→ (相模原市) 各部門における計画で記載の無い事業も本計画に記載する予定だが、位置づける取組はこれから整理を進める予定である。なお、具体的事業は各所管課と調整中であり、第 5 回委員会で本計画に位置付ける事業をご説明する。

(八木委員) 目指す将来像について、分かりやすく、親しみやすい表現になっていると感じた。市民も読んでイメージが付きやすい表現になっている。

(飯島委員長) 市ではフリーアドレスは導入されているのか。金沢市では全庁的にフリーアドレスを導入し、紙文書が電子化されペーパーレスが進んだようである。

→ (相模原市) 部署によってはフリーアドレスが導入されているが、少数の部署のみである。フリーアドレスを導入した課ではペーパーレスが進んでいる印象である。一方でその他の部署では紙での事務手続き等が残っており、執務室のスペースがひっ迫している部署もある。

→ (飯島委員長) 段階的にフリーアドレスを導入することは労力がかかり、一括で導入した方が効率的な面もあるので、導入方針を検討されるとよいのではないか。

(八木委員) 計画に位置付けられる施策はそれぞれの担当課で実施するのか。横断的に取り組むことが必要な施策もあると思われる。

→ (相模原市) 施策によっては、横断的に取り組むものもあると考えている。横断的な施策をリードする所管部署については今後調整を進める。

→ (飯島委員長) 例えば、オンデマンド交通の導入にあたっては、道路政策や地域施策にも関わる所管課と連携が必要となり、一つの課では対処できない状況も想定される。

(2) 市民アンケートについて

事務局から別紙資料に基づき説明を行った。主な意見については、次のとお

り。

(八木委員) (5) 市に実施してほしい事業者に対する「DX に関する施策」について」の設問は、事業者向けの設問と考えるが、子育て世代や高齢者にも同様に答えていただく想定か。

→ (相模原市) 当該設問は事業者以外のアンケートには記載しない想定である。

(八木委員) アンケートの回答数について、具体的な目標値はあるか。

→ (相模原市) 各分野で 50 人ずつは集めたいと考えている。

(渡邊委員) 自由記述欄は設けない想定か。

→ (相模原市) 現行案では、自由記述欄は設けていない。この点は委員の皆様からご意見いただき検討したい。

→ (飯島委員長) 自由記述欄は設けた方がよいと考える。すべての設問の「その他」に、自由記述欄を設けてはどうか。

→ (相模原市) 自由記述欄を設けることとする。

(小山田委員) アンケートの実施方法に関して、高齢者はスマホ教室参加者を対象にするとのことだが、スマホ教室の参加者はデジタルに前向きに取り組むたいと考えている層である。デジタルを使うことに否定的な層の意見を聞く必要があるのではないか。

→ (相模原市) 市内でもそのような層へのアプローチ方法を検討したが、具体的な方法が無い状況である。

→ (及川委員) 高齢者にスマホがある程度普及しているようであれば、キャリアの店舗にアンケート配布を依頼してみてもどうか。

→ (相模原市) 検討する。

→ (飯島委員長) 公民館での配布はいかがか。

→ (相模原市) 公民館利用者は団体利用が多い。コミュニティに属している高齢者が中心であり、一定程度スマホを使いこなしていると想定している。

→ (飯島委員長) 区民会議に案内し、区民会議メンバーに回答してもらうことはいかがか。

→ (相模原市) 検討する。

→ (及川委員) 介護施設に依頼するのはいかがか。

→ (相模原市) 市内でも検討したが、要介護認定者へアンケートを依頼することの是非があり、控えることにした。

(飯島委員長) 学生へのアンケートに関して、直近で夏季休業に入るため、早急に周知する必要がある。

→ (相模原市) 本日頂いた意見を反映し、早急に展開する。

(3) その他

飯島委員長から、会議録の作成については、事務局に委任し、委員長の承認をもって確定とすることについて意見を伺い、異議なしとのことで、承認された。

また、事務局から次回の日程について、7月30日(水)午後2時半から開催予定。詳細は追って案内することを説明した。

3 閉会

(仮称) 相模原市D X推進計画策定検討委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部教授	委員長	出席
2	及川 葉月	株式会社エーエージェント 自治体D X事業部 事業責任者		出席
3	小山田 隆貞	株式会社 きらぼし銀行 連携推進部 次長 (兼任 東京きらぼしフィナンシャルグループ 連携推進部公共連携推進室 室長)		出席
4	八木 彩夏	N T T 東日本株式会社 東京事業部 ビジネスイノベーション部 ビジネス企画グループ		出席
5	渡邊 将文	株式会社MEMOテクノス代表取締役		出席